

## 審議会での審議以降に行った計画内容の修正について

## 基本構想 3 都市空間の将来構造 【第4回審議会】

## &lt; 旧 &gt;

## (1) 都市づくりの基本的考え方 3～4段落目

本市において、このような都市構造を実現するために、既存ストック(現にある、都市を支えるさまざまな蓄積)を有効に活用しつつ、原則として郊外においては都市構造に大きな影響を与える新たな都市機能の立地を抑制し、多様な都市機能を都心部及び拠点となるべき各地域の中心部に集積させながら、都心部と各地域の都市拠点を連携する都市軸の強化により、一体として都市機能がコンパクトに集約した効果が発揮されるコンパクトシティを目指すものとします。

また、災害に強い安全・安心のまちづくりを推進するため、津波防災地域づくりに関する法律に基づく各種施策の検討や都市計画マスタープランの見直しを行います。

## (2) 将来構造の基本的構成 ー ①都市拠点

## 防災拠点

本市のみならず、県下全体の防災拠点として機能の充実に努めます。

## &lt; 新 &gt;

## (1) 都市づくりの基本的考え方 3段落目

本市において、このような都市構造を実現するために、既存ストック(現に在る、都市を支えるさまざまな蓄積)を有効に活用しつつ、原則として郊外においては都市構造に大きな影響を与える新たな都市機能の立地を抑制し、多様な都市機能を都心部及び拠点となるべき各地域の中心部に集積させながら、都心部と各地域の都市拠点を連携する都市軸の強化により、一体として都市機能が集約された効果が発揮されるコンパクトシティを目指すとともに、東日本大震災等を踏まえ、災害に強い安全・安心のまちづくりを目指します。

## (2) 将来構造の基本的構成 ー ①都市拠点

## 防災拠点

宮崎市の主要な行政機能が集約している市中心部については、非常時の指揮命令、情報の収集・発信等の中枢を担う本市の防災拠点としての機能充実に努めます。

個別目標 1-2-1 【第 2 回審議会】

効率的で信頼される行政運営が行われている

成果指標

< 旧 >

目標 1-2-1 (目標の達成度を測る指標)	現状値 H23 (2011) 年度	目標値 (中間年度) H27 (2015) 年度	目標値 (最終年度) H29 (2017) 年度
成果指標 1 行財政改革による節減 (効果) 額	現在集計中 (H22: 17 億円)	行財政改革大綱で 定める	行財政改革大綱で 定める
成果指標 2 職員数(定員適正化計画)	2,599 人 (H24.4)	定員適正化計画で 定める	定員適正化計画で 定める
成果指標 3 公共施設の維持管理適正 化計画策定の進捗率	0%	30%	100%

< 新 >

目標 1-2-1 (目標の達成度を測る指標)	現状値 H23 (2011) 年度	目標値 (中間年度) H27 (2015) 年度	目標値 (最終年度) H29 (2017) 年度
成果指標 1 行財政改革による節減 (効果) 額	<u>31 億円</u> (H22~H23)	行財政改革大綱で 定める	行財政改革大綱で 定める
成果指標 2 職員数(定員適正化計画)	2,599 人 (H24.4)	定員適正化計画で 定める	定員適正化計画で 定める
成果指標 3 公共施設の維持管理適正 化計画策定の進捗率	0%	30%	100%

個別目標 1-2-2 【第 2 回審議会】

財政が健全である

成果指標

< 旧 >

目標 1-2-2 (目標の達成度を測る指標)	現状値 H23 (2011) 年度	目標値 (中間年度) H27 (2015) 年度	目標値 (最終年度) H29 (2017) 年度
成果指標 1 市債残高	2,086 億円 (普通会計ベース ・ H23 未見込み)	中期財政計画で 定める	中期財政計画で 定める
成果指標 2 財政 5 基金残高	233 億円 (H23 未見込み)	中期財政計画で 定める	中期財政計画で 定める
成果指標 3 市税収納率 (現年度分)	97.3%	98.1%	98.2%

< 新 >

目標 1-2-2 (目標の達成度を測る指標)	現状値 H23 (2011) 年度	目標値 (中間年度) H27 (2015) 年度	目標値 (最終年度) H29 (2017) 年度
成果指標 1 市債残高	2,085 億円 (普通会計ベース ・ H23 末)	中期財政計画で 定める	中期財政計画で 定める
成果指標 2 財政 5 基金残高	258 億円 (H23 末)	中期財政計画で 定める	中期財政計画で 定める
成果指標 3 市税収納率 (現年度分)	97.3%	98.1%	98.2%

個別目標 2-2-2 【第 2 回審議会】

中心市街地の機能（交流・居住・消費・就業・移動）を享受している

成果指標

< 旧 >

目標 2-2-2 (目標の達成度を測る指標)	現状値 H23 (2011) 年度	目標値 (中間年度) H27 (2015) 年度	目標値 (最終年度) H29 (2017) 年度
成果指標 1 歩行者通行量	61,233 人	—	110,000 人 (H28 年度)
成果指標 2 夜間人口 (居住人口)	8,578 人	—	8,400 人 (H28 年度)
成果指標 3 昼間人口 (従業者数)	34,890 人 (平成 21 年)	—	35,283 人 (H28 年度)

< 新 >

目標 2-2-2 (目標の達成度を測る指標)	現状値 H23 (2011) 年度	目標値 (中間年度) H27 (2015) 年度	目標値 (最終年度) H29 (2017) 年度
成果指標 1 歩行者通行量	<u>56,048 人</u> (平成 24 年)	—	<u>70,400 人</u>
成果指標 2 夜間人口 (居住人口)	<u>8,619 人</u> (平成 24 年)	—	<u>10,000 人</u>
成果指標 3 昼間人口 (従業者数)	34,890 人 (平成 21 年)	—	<u>35,800 人</u>

個別目標 5-1-1 【第 4 回審議会】

充実した学校教育を受けることができる

実現するための主要施策

目標 5-1-1	
施策 6 高等教育機関等との連携強化	◆大学などの高等教育機関との連携により、授業の支援活動をはじめ、不登校児童生徒及び障害のある児童生徒への支援、学校防災などの取り組みを進めます。 ◆宮崎公立大学と連携し、大学の教育研究機能の質の向上に努めるとともに、 <u>学生や市民にとって魅力があり、地域に貢献できる大学づくりを支援します。</u>

個別目標 5-2-1 【第 4 回審議会】

生涯にわたって学ぶことができる

実現するための主要施策

目標 5-2-1	
施策 3 大学などと連携した学習機会の充実	◆大学や企業などと連携し、 <u>専門的で高度な学習が受けられる環境づくりに努めます。</u>